

<お手伝い大作戦！>

子どもは、お手伝いが大好きです。幼稚園でも「手伝って」と声をかけると、我先にかけよって来ることがよくあります。でも、子どもに手伝わせると「かえって大変だわ」と思っていないですか？

何かを任されることで、子どもの心は大きく成長します。是非この休みを利用して、お手伝いを頼んでみましょう。声のかけ方次第で、子どものやる気は、ぐーんとアップします。

ポイントその1 何かが一つできあがることは、子どもにとっても楽しいこと。



その2

玄関掃除 靴を揃える 卵を割る 餃子を作る 簡単サラダ・・・等
キャベツをちぎる ハムをナイフで切る

何か「自分の仕事」として取り組めることがあると意識もアップ。



その3

「そっちは頼むね」と言われると、やる気満々。

ごみを出す カーテンを閉める 洗濯物たたみ 郵便物を取る
箸を並べる 「ごはんだよー」と知らせる 机を拭く・・・等



その4

「助かるわ」「役に立つね」など、していることを認める言葉を忘れずに。

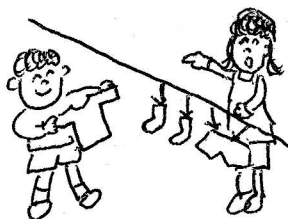
頼りにされていると感じることは、家族の一員としての自覚が芽生えます。ずっと見ていなくても、見ていてもらえているという気持ちで頑張れます。



その5

軌道に乗るまでは、「一緒にやろうね」と付き合って。

自分が役に立っていると実感することでやる気がでてきます。
意欲が育ち、次は何ができるか、自分で考えるようになるといいですね。



うまくいく日があっても、行きつ戻りつ・・・それが子どもです。
「決めたことは、やってね！」という気持ちを見せると、続きません。
「今日は、疲れているしね。また今度手伝ってもらえると嬉しいな。」
思いやりのある言葉をかけていると、いつか自分に返ってきます！

体を思い切り動かすことや、頭を使うこと、手先を使うことなど、ゆっくりと時間をかけて、様々な体験ができるといいですね。身近な生活の中にも、楽しみながらできることがたくさんあります。

どうぞ健康に気を付けて有意義にお過ごしください。

皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

もりぐみ♡こりすぐみのみなさん
ふくろようちえんの

みなさんに



はやくあいたいです。ようちえんが おやすみの
あいだの、たのしかったことを おはなしかせてね
たのしみにまっています。 えんちゅうのしわざり